

「発生主義的予算」の導入について

平成16年10月
総務部

■ 趣旨

府民ニーズに基づく成果重視型の施策体系を構築していくためには、各施策について、長期的視点に立った費用対効果を十分見極める必要があることから、事業開始から事業終息までのトータルコストと事業実施により得られる府民満足度を総合的に比較検証する「発生主義的予算」の導入に取り組むこととする。

■ 取組内容

□ 取組方法

各施策について、事業開始(既存事業にあっては平成17年度)から事業終息までのトータルコストと事業成果を比較検証する検討調書を各部局において作成し、予算査定時に活用。

□ 検討調書の作成

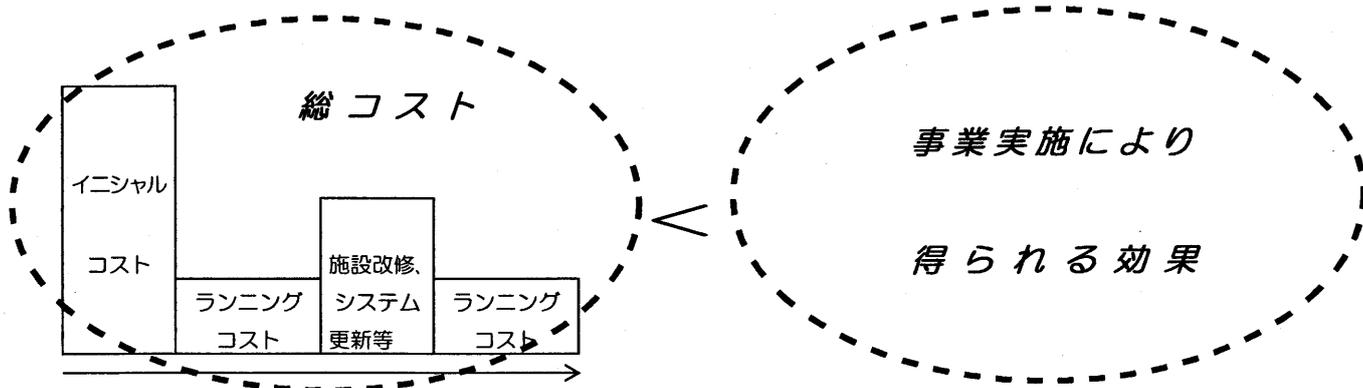
別添様式により、別途指示する期日までに、総務部財政課に提出。

※ 発生主義的予算計算書

様式A：すべての既存事業について、今後5年程度にわたる所要見込額を記載。

様式B：平成17年度新規事業のうち、建築工事やシステム開発費など、イニシャルコストとランニングコストを区分して算出すべき事業について、本様式により、総事業費等を記載。

「発生主義的予算」のイメージ



(様式B)

発生主義的予算計算書

事業名	部課(室)名
-----	--------

(単位:千円)

①建設に要する経費

所要額	全体所要額		14年度	15年度	16年度	17年度	年度
	0	0	0	0	0	0	
国庫支出金	0						
起債	0						
一般財源	0		0	0	0	0	0
内容							

②運営に要する経費

	全体所要額		初年度	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目~10年目	11年目~
	(耐用年数:年)	年間平均額	(年度)	(年度)	(年度)	(年度)	(年度)	(年度~年度)	(年度~年度)
収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設使用料	0								
支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	0								
管理費	0								
起債利息	0								
修繕費	0								
その他									
収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③見直し等に要する経費

事項名	所要額	時期等	実施することによる具体的効果
合計	0		

総事業費	0
建設費(起債+一財)-収支差額+見直し経費	

事業効果

--

注)本様式は、新規事業のうち、建築工事やシステム開発事業等、イニシャルコストとランニングコストを区分して算出する事業について、作成すること

(様式B)

発生主義的予算計算書(記載例)

事業名 ○○○会館建設事業	部課(室)名 ○○○部○○○課
----------------------	------------------------

(単位:千円)

①建設に要する経費

		全体所要額		14年度	15年度	16年度	17年度	年度		
所要額		920,000		20,000	300,000	300,000	300,000			
	国庫支出金	260,000		10,000	150,000	100,000	0			
起債		380,000		0	100,000	100,000	180,000			
一般財源		280,000		10,000	50,000	100,000	120,000		0	
内容	基本設計	10,000	基本設計	10,000	本工事	300,000	本工事	200,000	付帯工事	100,000
	実施設計	10,000	実施設計	10,000			付帯工事	100,000	設備費	200,000
	本工事	500,000								
	付帯工事	200,000								
	設備費	200,000								

②運営に要する経費

	全体所要額 (耐用年数:20年)		初年度 (17年度)	2年目 (18年度)	3年目 (19年度)	4年目 (20年度)	5年目 (21年度)	6年目~10年目 (22年度~26年度)		11年目~ (27年度~36年度)	
	年間平均額	年間平均額						年平均額	年平均額	年平均額	年平均額
収入	1,290,000	64,500	50,000	52,000	54,000	56,000	58,000	320,000	64,000	700,000	70,000
施設使用料	1,290,000	64,500	50,000	52,000	54,000	56,000	58,000	320,000	64,000	700,000	70,000
支出	1,458,000	72,900	64,000	104,000	66,500	97,500	66,000	350,000	70,000	710,000	71,000
人件費	995,000	49,750	46,000	46,500	47,000	47,500	48,000	250,000	50,000	510,000	51,000
管理費	200,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	10,000	100,000	10,000
起債利息	18,000	900	3,000	12,500	2,500	0		0		0	
修繕費	245,000	12,250	5,000	35,000	7,000	40,000	8,000	50,000	10,000	100,000	10,000
その他											
収支差額	▲ 168,000	▲ 8,400	▲ 14,000	▲ 52,000	▲ 12,500	▲ 41,500	▲ 8,000	▲ 30,000	▲ 6,000	▲ 10,000	▲ 1,000

③見直し等に要する経費

事項名	所要額	時期等	実施することによる具体的効果
設備更新費	200,000	10年ごと(1回100,000千円程度)	設備の耐用年数による、機能維持 集客力の維持
施設改修費	500,000	20年目	耐用年数の増加
合計	700,000	20年目	

総事業費 建設費(起債+一財)-収支差額+見直し経費	1,528,000
--------------------------------------	------------------

事業効果

○○○○○○○○.....

注)本様式は、新規事業のうち、建築工事やシステム開発事業等、イニシャルコストとランニングコストを区分して算出する事業について、作成すること